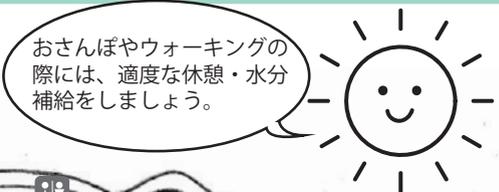


おさんぽマップ

暑さに負けず、植物たちも元気いっぱい！
 水辺の植物の観察時は足元にお気をつけください。



① ダリア (キク科)

初夏から秋にかけて長く花を楽しむことができ、鮮やかな花色や、一重から八重咲、変化咲きなど様々な品種があります。
 和名は「天竺牡丹(テンジクボタン)」。「天竺」は遠くから来たという意味。「牡丹」は花の形がボタンに似ていることが由来です。



② ミズアオイ (ミズアオイ科)

葉は心形(ハート形)。葉より高く花序を伸ばし、6枚の花弁を持つ青紫色の花を総状に多数つけます。
 1日花で、次々と花を咲かせます。
 ナギ(水葱、葉)とも呼ばれ、食用にするほど身近な植物でしたが、現在は数が減り、見られる場所も少なくなりました。
 (環境省準絶滅危惧、新潟県絶滅危惧Ⅱ類)



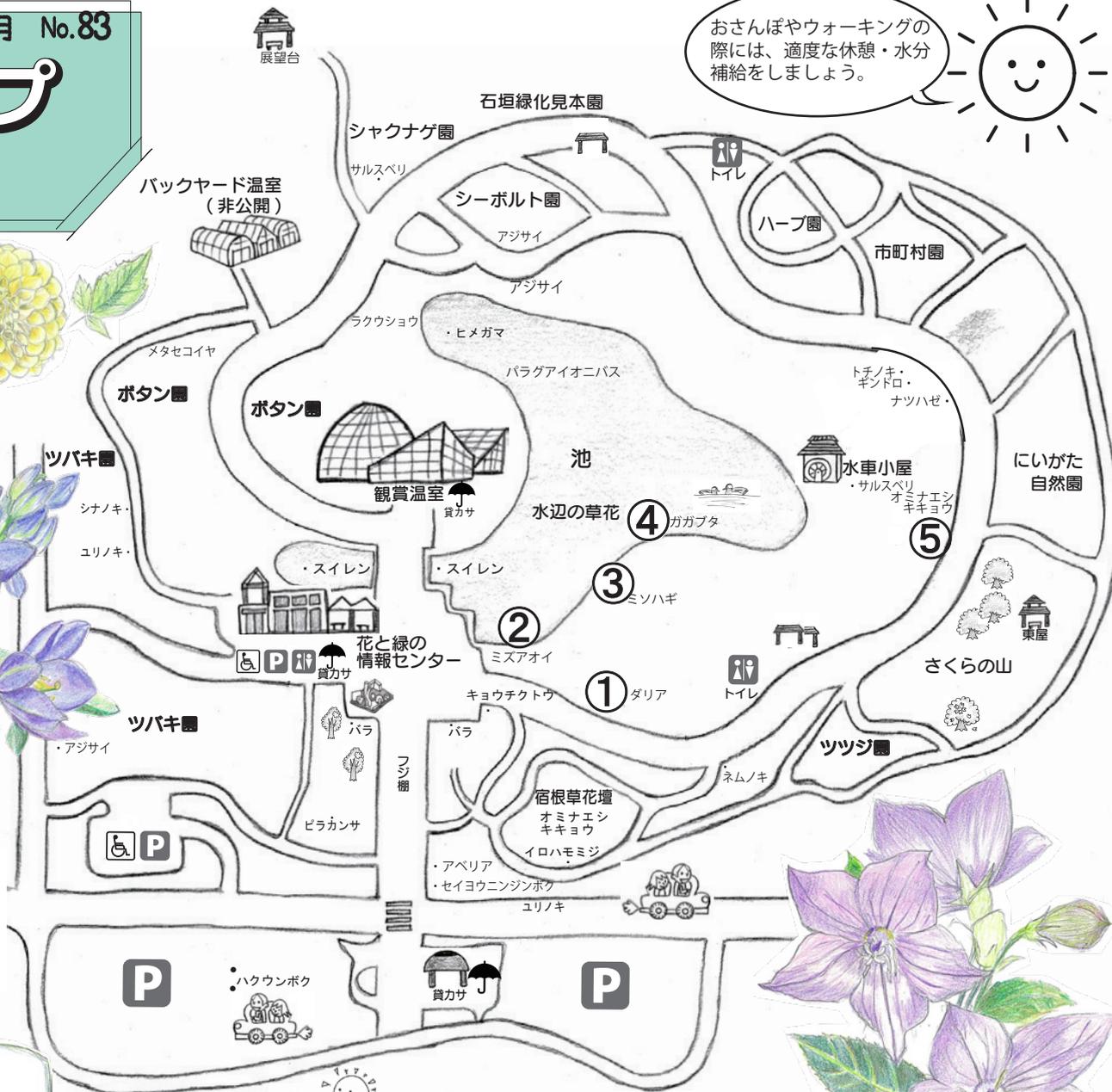
③ ミソハギ (ミソハギ科)

湿地に群生し、茎の上部の葉の付け根に3~5個の花が付き、穂状に見えます。
 紫がかったピンク色の花を咲かせます。
 名前はハギに似た花が咲き、襖(みそぎ)に使われたことに由来します。



④ ガガブタ (ミツガシワ科)

水面から出た1.5cmほどの白い花には5枚の花弁があり、花弁の縁は細かに裂けているため、ふさふさ毛が生えたように見えます。
 花は朝咲き、夕方には水中に沈んでしまう1日花です。
 (環境省準絶滅危惧、新潟県絶滅危惧Ⅱ類)



⑤ キキョウ (キキョウ科)

まっすぐ伸びた茎の先端に青紫色の花を咲かせます。
 美しい花は「秋の七草」のひとつとして親しまれています。
 6月から9月頃まで開花します。
 (環境省絶滅危惧Ⅱ類、新潟県絶滅危惧Ⅰ類)

